



結婚式を挙げたカップルや関係者を招いて披露された鍵形のモニュメント

「恋人の聖地」に新顔

伊予灘
S A 鍵形モニュメント除幕

カップルに人気の観光スポットで「恋人の聖地」に選ばれた松山自動車道伊予灘サービスエリア（S A、伊予市宮下）で七日、鍵形のシンボルモニュメントの完成記念式典があり、県内のカップルや関係者ら約二十人が

「聖地」の新たな門出を祝った。
西日本高速道路四国支社（高松市）などが主催。「聖地」は静岡市の特定非営利活動法人（NPO法人）「地域活性化支援センター」が二〇〇六年から認定しており、同S A

は美しい夜景が好評でことし四月に選ばれた。式典で、同支社の梅田雄康支社長が「聖地にふさわしい環境を整え、さらに魅力的なS Aにしたい」とあいさつ。真ちゅう製の認定記念プレートを埋め込んだ、高さ一・七メートルの御影石のモニュメントを除幕した。

カップルが愛を込めて南京錠をかける「ハートロックフェンス」も従来の三枚から六枚に増設。県内から公募で選ばれた三組の男女が記念施錠を行った。ハート形の錠をかけた松山市の青木友孝さん（三〇）と長田幸子さん（三三）は「思い出の場所としてこれからも訪れたい」と笑顔で話した。